別紙様式１

写真貼付

　記入参考例

履　　　　歴　　　　書

【令和○○年○○月○○日現在】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | | ミヤザキ　タロウ | 性　別 | 生年月日（年齢） | | |
| 氏　　　名 | | 宮崎　太郎 | 男 | 昭和  平成 | ○年　○月　○日 （○○） | |
| 現　住　所 | | 宮崎市清武町木原５２００ | | 電 話 | | 携帯：  固定： |
| E-mail | |  |
| 学　　　歴（高等学校卒業以降、学位を含む） | | | | | | |
| 年　　月 | 事　　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | | |
| 1994.3  1994.4  2000.3  2002.4  2006.3  2006.3 | ・・・・・・・・県立・・・・・高等学校卒業  ・・・・・大学医学部医学科入学  　同上卒業  　・・・・・大学大学院医学研究科博士課程入学  　同上修了  医学博士・博士（医学）（・・・・大学第・・・号） | | | | | |
| 職　歴　及　び　研　究　歴（昇任等を含む） | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
| 2000.4  2001.3  2001.4  2002.3  2004.4  2005.1  2005.2  2009.3  2009.4  2010.3  2010.4 | | ・・・・・大学卒後臨床研修センター研修医  同上退職  県立・・・・・病院研修医  同上退職  ・・・・・大学医学部附属病院医員（・・・・・科）  同上退職  国立・・・・・病院医師（・・・・・科）  同上退職  ・・・大学医学部研究生入学  同上退学  　・・・・・大学医学部附属病院助教（・・・・・科）  現在に至る | | | | |
| 免 　許　・　資　格　 等 | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
| 2005.5  2005.5  2011.3  2013.3  2015.3  2023.4 | | 第・・・・回医師国家試験合格  　医師免許取得（医籍登録第・・・号）  ○○認定医  ○○指導医  　○○専門医  臨床実習前客観的臨床能力試験（Pre-CC OSCE）認定評価者 | | | | |
| 学　会　及　び　社　会　に　お　け　る　活　動 | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
| 2000.6  2001.3  2004.3  2005.5 | | 日本・・・・・学会会員、現在に至る  　日本・・・・・・学会会員  　同上退会  　日本・・・・・・・学会会員、現在に至る | | | | |
| 賞罰（懲戒処分歴等を含む） | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
|  | | 特になし | | | | |

※必要に応じ、各項目を伸縮して使用してください。（複数頁にわたっても構いません。）

|  |
| --- |
| 本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。  ○○　年　○○　月　○○　日　　　　氏　名　　　　○○　○○　　　（自署） |

【記入上の注意】

※　賞罰欄 には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分（研究費の不正受給に係る処分等）を記載すること。また、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

別紙様式１

写真貼付

履　　　　歴　　　　書

【令和○○年○○月○○日現在】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | |  | 性　別 | 生年月日（年齢） | | |
| 氏　　　名 | |  |  | 昭和  平成 | 年　　月　　日 （　　） | |
| 現　住　所 | |  | | 電 話 | | 携帯：  固定： |
| E-mail | |  |
| 学　　　歴（高等学校卒業以降、学位を含む） | | | | | | |
| 年　　月 | 事　　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | | |
|  |  | | | | | |
| 職　歴　及　び　研　究　歴（昇任等を含む） | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
|  | |  | | | | |
| 免 　許　・　資　格　 等 | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
|  | |  | | | | |
| 学　会　及　び　社　会　に　お　け　る　活　動 | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
|  | |  | | | | |
| 賞罰（懲戒処分歴等を含む） | | | | | | |
| 年　　月 | | 事　　　　　　　　　　　　　項 | | | | |
|  | |  | | | | |

※必要に応じ、各項目を伸縮して使用してください。（複数頁にわたっても構いません。）

|  |
| --- |
| 本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。  　　　年　　　　月　　　　日　　　　氏　名　　　　　　　　　　　　（自署） |

業績目録の記入要領

１．業績目録は、１．著書、教科書、２．学術論文、３．学会発表の３大区分とし、後記の各小区分に従い、それぞれの用紙の欄外に示してある様式に従って記載してください。

　　※該当するものがない場合は「特になし」と記入してください。

　　※用紙不足の場合は通常のコピー用紙A４で複写して使用してください。

２．大区分毎に、欧文と和文を区別し、著者名は、論文等に記載の順に全員を記載し、本人氏

　　名に下線を付してください。業績が複数ある場合は現在から過去にさかのぼって記載し、

各業績間は１行あけてください。

３．学術論文は学術誌に既発表（掲載受理を含む）のみとします。

　　原著・症例報告・総説の３小区分とし、現在から順に発表年を過去に遡り記入してく　　　ださい。

（１）提出する別刷の右上に番号を付し、その番号と同じ番号（例①②）を論文の通し番号の

左に記入してください。

（２）欧文論文の記載はPubMedに準じてください。

（３）corresponding author には著者名の後に＊を付けてください。

（４）最後に、査読の有無を、[査読有]または［査読無］として示してください。

４．学会発表は、学術団体主催の国際学会及び全国規模国内学会について、本人演者のみを記載してください。特別講演、教育講演、招待講演、シンポジウムなど当該学会での講演種名を（Plenary Lecture）、（Invited Lecture）、（教育講演）、（シンポジウム）などとして、演題名の後に記載してください。

また、一般講演（口演及びポスター）は除いてください。

５．全業績目録は提出書類として一冊に纏めて綴じ、通し頁番号を付してください。

別紙様式２の１

業　　績　　目　　録（記入参考例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　著書，教科書 | | | 氏名 | 宮崎　太郎 |
|  | 番号 | 著者名．題名．編集者名．書名．出版社名．年；始－終頁． | | |
| １  ２  １ | （欧文）  Miyazaki T, Hyuga I. Cryofixed freeze substitution of mammalian tissue  culture cells. In Eisenbach N, Osafune K, eds. Immuno-Electron Microscopy. Springer. 2014;233-240.  　・・・・・・・・・・・・  （和文）  宮崎太郎．第1章　細菌とは．清武二郎，宮崎太郎(編)．医科細菌学　改訂第4版．  日向出版．2013;1-17． | | |

別紙様式２の２

業　　績　　目　　録（記入参考例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ２　学術論文(原著，症例報告，総説の順に記入すること。) | | | 氏名 | 宮崎　太郎 |
|  | 番号 | 著者名．題名. 学術雑誌名 (Index Medicus)．年；巻：始―終頁．[査読の有無]  （冊子体のないオープンアクセスジャーナルについては、以下の例を参考にしdoiを付記してください。） | | |
| 1. １   ２    １  １  １  ２  １  １ | 原著（欧文）  Miyazaki T, Hyuga I\*. High-pressure freezing provides new insights into  fine structure and subcellular localization of H+/K+-ATPase in gastric parietal  cells. J Histochem Cytochem. 2019;18:57-66. [査読有]  （オープンアクセスジャーナルの例）  Miyazaki T\* Hyuga I. Memory disorder and brain development by  experience. Nat Commun. 2016 ;10(1):5831. doi: 10.1038/s41467-019-13675-4.  ［査読有］  原著（和文）  　・・・・・・・・・・・・・  症例報告（欧文）  Oyodo R, Miyazaki T, Kibana H, Hyuga I\*. Successful laparoscopic  management of chylous ascites following laparoscopic radical nephrectomy.  Int J Urol. 2018;45:519-521. （直接指導論文） [査読有]  症例報告（和文）  宮崎太郎，木花姫子，清武二郎\*．腎癌との鑑別が困難であった腎門部Schwannomaの  １例．泌尿器科紀要．2012;32:519-521．[査読有]  　・・・・・・・・・・・・  総説（欧文）  　・・・・・・・・・・・・  総説（和文）  木花姫子，宮崎太郎，日向一郎\*．ゲノム解析から見えてきた腸管出血性大腸菌の毒素及び病原因子の新知見．化学療法の領域．2013;18:367-377．[査読無] | | |

別紙様式２の３

業　　績　　目　　録（記入参考例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ３　学会発表（本人演者のみ。）※教授・准教授・講師選考の  場合は一般講演を除き，助教・助手選考の場合は一般講演を含む | | | 氏名 | 宮崎　太郎 |
|  | 番号 | 発表者．演題名(講演種名)．学会名，開催場所，開催国（国際学会のみ記載） （発表年） | | |
| １  ２  １ | （国際学会）  Miyazaki T, Kibana H, Kiyotake J. The functional transformation of gastric  parietal cells (Invited Lecture). 13th International Microscopy Congress,  Sapporo, Japan (2011)  　・・・・・・・・・・・・  （全国規模国内学会）  宮崎太郎．ヒト腸内細菌叢のメタゲノム解析（シンポジウム）．第81回日本細菌学会総会，京都（2014） | | |

別紙様式２の１

業　　績　　目　　録

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　著書，教科書 | | | 氏名 |  |
|  | 番号 | 著者名．題名．編集者名．書名．出版社名．年；始－終頁． | | |
|  |  | | |

　　　　　－　　－

別紙様式２の２

業　　績　　目　　録

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ２　学術論文(原著，症例報告，総説の順に記入すること。) | | | 氏名 |  |
|  | 番号 | 著者名．題名. 学術雑誌名 (Index Medicus)．年；巻：始―終頁．[査読の有無]  （冊子体のないオープンアクセスジャーナルについては、別紙記入例を参考にしdoiを付記してください。） | | |
|  |  | | |

番号の左側の○については，提出のあった論文別刷の通し番号を指します。

corresponding authorには＊を付しています。

　　　　　　　　　－　　－

別紙様式２の３

業　　績　　目　　録

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ３　学会発表（本人演者のみ。）※教授・准教授・講師選考の  場合は一般講演を除き，助教・助手選考の場合は一般講演を含む | | | 氏名 |  |
|  | 番号 | 発表者．演題名(講演種名)．学会名，開催場所，開催国（国際学会のみ記載） （発表年） | | |
|  |  | | |

　　　　　－　　－

**応募者へお願い**

この度は、本学教員選考に応募いただきありがとうございます。

さて、本学では応募者に選考の結果を通知しておりますので、下記に住所等を記入願い、応募書類と共に送付をお願い申し上げます。

**応募者**　氏名

　　　　住所　〒

携帯電話番号

E-MAILｱﾄﾞﾚｽ